



一般社団法人 鹿児島県住宅産業協会 KAJUKYO

鹿住協だより Vol. 10
2016年11月号

【事務局】
〒890-0069 鹿児島市南郡元町14-9 三洋ハウスビル3F
TEL 099-285-0101 FAX 099-285-0122

建設業のためのアジア実習生採用説明会



アジア実習生採用について制度の概要を説明する宮原氏

県住宅産業協会（逆瀬川勇理事長）は11月17日、鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで「建設業のためのアジア実習生採用説明会」を開催した。会員や一般から約70人が参加。外国人技能実習生の受入制度や雇用する際の注意点について理解を深めた。

逆瀬川理事長は、「人口が減少していく中で、われわれ業界にとって技術者の確保は喫緊の課題。東南アジアの若い人材を採用することで職場を活性化し、さらなる企業の発展を目指してほしい」と挨拶。同日は、国際人材育成機構（アイム・ジャパン）九州支局の宮平壮平氏が講師を務め、技能実習生の受入申込から帰国するまでのスケジュールや技能実習の諸費用について概要を詳しく説明した。

宮原氏は、人口が減少する中での労働力（技能士）の確保を前提に、「日本の技術を学び、日本での就労を望む外国人技能実習生は多い」と述べ、「安定した雇用確保は、人材を欲しがっている企業にとっては大きなメリット（戦力）になり、職場の活性化につながる」と強調した。

このほか、ベトナム人実習生を6人雇用している姶郷土開発の上野康弘社長が自社の事例を発表。組合への支払いや給与面については、「少し高い」としながらも、「ベトナム人実習生の仕事の質の高さ」に言及した。また、運転免許の取得や寮（賃貸）の家賃収入など、メリットの大きさもポイントとして挙げた。



事例発表を行う上野社長



講師の説明を熱心に聴講する参加者ら

2016年11月度定例会

定例懇親会に先立ち挨拶する逆瀬川理事長



水口組織委員長の発声で乾杯

定例会では冒頭、逆瀬川理事長が「外国人技能者を採用することで、企業の発展、鹿児島県の発展につなげてほしい」と呼び掛けた。また、四期目を目指す森博幸鹿児島市長が来賓として出席。森市長は、「人手不足の中、海外の人材を採用することで安定した雇用を確保することが重要。実習生は技術を習得し、自国に戻って活躍する場を得ることもできるので、双方にとってメリットがある」と述べたほか、「鹿児島における住宅産業の発展のためにも、都市基盤整備の推進を重点施策として取り組んでいきたい」「未来の豊かな生活、環境づくりに向けた市政を実施する」と挨拶し、鹿児島市長選挙への力添えを訴えた。

忘年会を兼ねた懇親会は、水口隆浩組織委員長の乾杯の発声で開宴。参加者らは、互いに杯を酌み交わし、意見交換を行うなど親睦を図った。また、各委員会からは、全住協全国大会（2017年11月開催）に向けた準備活動の報告などがあった。



記念写真に納まる逆瀬川理事長と森博幸鹿児島市長



泊 俊昭
(有)フレーム工販

新規入会員

introduce

（株）アイランドホームの山口俊彦社長や市田兄弟土木（株）の市田寛信会長の誘いがあり入会することになりました。一会員として、協会の発展に貢献できるよう頑張りたい。

賀詞交歓会

日時 平成29年1月13日（金） 受付 18:30～
場所 鹿児島サンロイヤルホテル（鹿児島市与次郎）
賀詞交歓会 19:00～21:00